

19 さぬきオーガニック（香川県全域）

協議会の構成員

綾川町経済課、（株）マルヨシセンター、（公財）オイスカ四国研修センター、
香川県有機農業者13名 他

生産概要（令和3年度）

- 取組面積
有機農業取組面積：9.89ha
うち有機JAS取得面積：1.4ha
- 栽培品目：野菜全般、水稻
- 有機農産物の生産量：19トン
- 有機農業者数：13名
（マルヨシセンター、コープ、春日水神市場 他）

成果（令和3年度）

1. 有機農業の拡大

- ・有機農業の新規就農者の増加：1名（令和3年度）
- ・有機JAS認証取得者数の増加：1名（令和2年度）→6名（令和6年度見込）
- ・有機農業取組面積の拡大：6.98ha（令和2年度）→9.89ha（令和3年度）

2. 経営の向上

- ・有機農産物の総出荷量：9トン（令和2年度）→19トン（令和3年度）

取組のポイント（令和3年度）

■研修会の開催

- ・インターネットを利用した流通や、圃場管理の考え方、農場運営の整理整頓による経営改善などについて、有識者から学んだ。

■講習会等の開催

- ・土壌水分の計測や連作、作物の根の伸び方などの土や作物の性質を理解し、病害虫を抑制させ、生育を向上させる栽培方法を学んだ。
- ・タマネギの直播を行い、播種時期、生育途中の管理を学ぶ過程で土づくり、土壌分析による施肥などを理解し、栽培の簡略化を図った。

■学校給食の有機化推進

- ・香川県内の学校給食に有機農産物を普及するための手法や周囲の理解の必要性を学んだ。行政とも連携を進め実施に向けて意見交換を行った。それに伴い、出荷計画を全体で見直し、検討を行った。



土づくりを大切に行い、年間通して様々な野菜を有機栽培しています。こだわった野菜をご賞味下さい。

問い合わせ先
さぬきオーガニック事務局
ofan3071@yahoo.co.jp

中国四国農政局生産部生産技術環境課
086-224-4511（内線2772）

20 高知オーガニック（高知県高知市、本山町ほか）

協議会の構成員

NPO法人高知県有機農業研究会、株式会社土佐山田ショッピングセンター、株式会社四国シジシー、末広ショッピングセンター、高知かねた青果、株式会社山下農園、りぐるVege、や農園、キセツノオヤサイ葉屋、風と水の大地、ケンタロウファーム、素農人ほか

生産概要（令和3年度）

- 取組面積
 - 有機農業取組面積：27.2ha
 - うち有機JAS取得面積：2.7ha
- 有機農業者数：15名
- 栽培品目：ショウガ、トマト、ニンジン、水稻等
- 有機農産物の生産量：175.6トン
- 構成員の主な取引先：スーパー、産直市場、飲食店

成果（令和3年度）

1. 有機農業の拡大
 - ・有機農業者数の増加：14名（令和2年度）→15名（令和3年度）
 - ・有機農業面積の拡大：19.4ha（令和2年度）→27.2ha（令和3年度）
2. 経営の向上
 - ・有機農産物の総出荷量：121.4トン（令和2年度）→175.6トン（令和3年度）
 - ・有機農産物の総販売額：4860万円（令和2年度）→7200万円（令和3年度）

取組のポイント（令和3年度）

■ 栽培技術力・経営力向上に向けた取組

- ・実習ほ場及び研修ほ場を設置し、これらを活用して土壌分析や技術講習会を複数回実施したほか、有機JAS認証制度の理解増進や土づくり技術の研修会等を行った。
- ・これにより生産者の収量や品質が向上し売り上げの向上にもつながり、新たに有機農業者（構成員）も増加した。

■ 流通・販売の拡大に向けた取組

- ・実需者と生産者の意見交換や、栽培品目等の調整を行うための会議を複数回実施するとともに、県内スーパーにおいて実需者等の意向把握・需要量の調査を行った。これにより、スーパー（15店舗）で「高知オーガニック」専用の販売コーナーを新たに設置することができた。



高知オーガニックです。私たちの作った“自然の味”をぜひご賞味ください！

問い合わせ先
高知オーガニック
090-8970-7796

中国四国農政局生産部生産技術環境課
086-224-4511

21 高知オーガニック・エコ農業推進協議会 (高知県南国市ほか)

協議会の構成員

高生連、高知県、コープ自然派しこく、有機農業者（3名）ほか

生産概要（令和3年度）

- 有機農業取組面積：21ha
- 有機農業者：5名
- 栽培品目：米、ナス、ピーマン
- 有機農産物の生産量：43.6トン
- 構成員の主な取引先：2箇所
(高生連、コープ有機)

成果（令和3年度）

1. 有機農業の拡大

- ・ 有機農業者数の増加：4名（令和2年度）→5名（令和3年度）
- ・ 有機JAS認証取得者数の増加：0名（令和2年度）→3名（令和6年度見込み）
- ・ 有機農業取組面積の拡大：13ha（令和2年度）→21ha（令和3年度）

2. 経営の向上

- ・ 有機農産物の総出荷量：27.6トン（令和2年度）→43.6トン（令和3年度）

取組のポイント（令和3年度）

■ 経営力向上・表示制度に係る研修会等の開催

- ・ 経営力向上・表示制度に係る研修会を毎年（年3回）開催し、新規就農者及び農業者が多数参加。土壌分析結果から施肥設計の方法や使い方について学んだほか、植物生理に基づいた農業理論、天敵昆虫を活用した生産技術等について学び、新規参入者だけでなく、従来からの有機農業実践者の生産性の向上や、適切な資材を検討することで経営の向上につながった。



■ 安定供給体制構築のための取組

- ・ 地域のイベント等における商談窓口の出店や取組の宣伝により、販路開拓に向けた取り組みを行った。
- ・ 有機農産物の学校給食への導入先進地区における勉強会及び意見交換を行ったことで、高知県における学校給食への有機農産物の使用に向けた、協議会としての意見とりまとめの参考になった。



天敵農法にこだわってつくった美味しいピーマンはコープ自然派で販売しております。ぜひご賞味ください！

問い合わせ先
高知オーガニック・エコ農業推進協議会
088-804-6705
コープ自然派しこくこうちセンター内

中国四国農政局生産部生産技術環境課
086-224-4511

22 Organic山都 (熊本県上益城郡山都町)

協議会の構成員

熟練有機農業者3名、有機新規就農者9名、販売会社; (株)肥後やまと、山都町農林振興課

生産概要 (令和3年度)

- 取組面積
有機農業取組み面積：17ha
うち有機JAS認証面積：12.8ha
- 栽培品目：人参、里芋、馬鈴薯、玉葱他
- 構成員の主な取引先：(株)肥後やまと、契約販売※
※ 構成員それぞれによる

成果 (令和3年度)

1. 有機農業の拡大

- ・ 令和3年度に新たに2名が有機農業を開始。
- ・ 有機農業の取組面積の拡大：16ha(令和2年度)→17ha(令和3年度)
うち有機JAS認証面積：10.2ha(令和2年度)→12.8ha(令和3年度)

2. 経営の向上

- ・ 品質向上の分析結果に基づく販売強化が期待される。

取組のポイント (令和3年度)

■ 新たな栽培技術の実証

- ・ 従来の慣例的な有機肥料の施肥により、カリと石灰の蓄積がすすみ、石灰：苦土：カリ(=5：2：1基本)の拮抗バランスが崩れ、相対的に苦土欠乏が進み、生育状況が悪くなっている傾向が多かった。BLOF理論による栽培技術アドバイスにより、葉緑素の中心元素となる苦土(ク溶性,水溶性)のバランス施肥を適切に行い、光合成能力の最大化を狙う実証試験を行った。成果として、概ね品質改善を実感することが出来た。
- ・ その分析結果により、販売強化及び開拓を強化して行きたい。

■ BLOF技術講習会

- ・ 「科学的根拠に基づく農業技術セミナー」～ 高品質・多収穫の先進技術～をテーマにて2回開催した。(45人,30人)

■ 有機JAS講習会

- ・ 有機JAS認証の基本的理解、レベルアップのために研修会を1回実施した。(40人)

■ 販売等戦略会議

- ・ 事業推進関係を含め、適切に生産と需要のマッチングを図るため、生産・調整・出荷・加工を含む販売先ニーズ等について全5回、販売戦略会議を行った。



2022年から、町主導による“みどりの食料システム戦略事業”に発展しました！ これからも、次世代の有機農業の拡大に向け、農業経営・技術普及指導に精進していきます。

問い合わせ先
Organic山都 代表 西山
080-5375-2480

九州農政局生産部生産技術環境課
096-300-6271

23 宮崎県有機農業連絡協議会（宮崎県）

協議会の構成員

綾町自然生態系農業農力向上委員会、銀鏡有機生産組合、一里山有機農業研究会、宮崎県農業法人経営者協会、宮崎県経済農業協同組合連合会、綾町、高鍋町、木城町、宮崎県

生産概要（令和3年度末）

■有機農業取組面積 : 89.3ha
うち有機JAS取得面積 : 60.6ha

■有機JAS認証取得者数 : 17名

■栽培品目 : 野菜、茶、ゆず、とうがらし等
■有機農産物の生産量 : 483トン



成果（令和3年度）

1. 有機農業の拡大

- ・有機JAS認証面積の増 44.3ha（令和2年度）⇒ 60.6ha（令和3年度）
- ・有機JAS認証取得者数の増 11名（令和2年度）⇒ 17名（令和3年度）

2. 経営の向上

- ・販路拡大に取り組む事業者による事例報告会を通じて、本取組に賛同する農家の参画により、新たな販路開拓により有機農産物の出荷量の拡大が見込まれる。

取組のポイント（令和3年度）

■協議会会員による技術研修会の開催

- ・会員の露地法人代表による研修会を開催し、県内の農業者に対して、太陽熱を利用した土壌消毒技術を紹介。病害、雑草対策につながる具体的な技術の普及を推進した。



■物流事業と連携した有機農産物の販路拡大

- ・県内で有機農産物の販路拡大に取り組む事業者による事例報告を行い、取組の紹介及び本取組に賛同する農業者の募集を実施した。

今後も、県内の有機農業者間のネットワーク強化、有機農業技術の普及推進のために活動を行っていきます。

問い合わせ先
宮崎県有機農業連絡協議会事務局
0985-26-7134

九州農政局生産部生産技術環境課
096-300-6271

24 かごしま有機農業推進協議会 (鹿児島県鹿児島市・始良市・南さつま市)

協議会の構成員

鹿児島市、始良市、南さつま市、NPO法人鹿児島県有機農業協会、生活協同組合コープかごしま、株式会社エム・オー・エー商事九州販売、始良有機部会、始良・伊佐地域振興局、有限会社かごしま有機生産組合

生産概要 (令和3年度末)

- | | |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ■取組面積 有機農業取組面積：100.3 ha うち有機JAS取得面積：92 ha ■有機農業者：73名(当初48名) | <ul style="list-style-type: none"> ■栽培品目：水稻、玉ねぎ、人参等 ■有機農産物の生産量：949 t ■構成員の主な取引先：264 箇所
(生協、スーパー、小売店等) |
|--|--|

成果 (令和3年度)

1. 有機農業の拡大

- ・有機農業面積の拡大：100 ha (令和2年) → 100.3 ha (令和3年)

2. 経営の向上

- ・有機農産物の生産量：920 t (令和2年) → 949 t (令和3年)
- ・有機農産物の取引先：262 箇所(令和2年) → 264 箇所(令和3年)

取組のポイント (令和3年度)

■栽培技術・経営力向上等に向けた取組

- ・土づくり技術実証圃を設置し、技術実証圃での栽培技術講習会を開催した。
- ・また、有機農業フォーラムを2回開催し、生産力、経営力の向上に繋げた。

■安定供給体制構築のための取組

- ・東京で開催される大規模な展示会(オーガニックライフスタイルEXPO)へ出展することで新たな販売先を確保し、安心して生産できる体制を強化した。
- ・また、北海道、滋賀県にて実需者の意向調査及び需要調査、店舗調査を行い、求められている品目や時期について調査した。



圃場での現地検討会などを通して安定的に生産できるように技術力の向上に努めています。

問い合わせ先：
かごしま有機農業推進協議会
事務局 099-282-6867

〔九州農政局生産部生産技術環境課〕
096-300-6271

1 北海道有機農業推進協議会（北海道旭川市）

協議会の構成員

有限会社営農企画、生活共同組合コープ自然派事業連合、株式会社コープ有機

生産概要（令和3年度末）

■取組面積

有機認証農地 100ha

有機大豆（とよみづき・ユキホマレ・スズマル）、有機小麦（ゆめちから・キタホナミ）、
有機なたね、有機大麦（もち麦）

■主な取引先 生協 メーカーなど

成果（令和3年度）

1. 有機農業の拡大

・道内を対象とした有機栽培技術講習会の開催（3回）

2. 経営の向上

・コープ自然派向け出荷量：令和2年度：有機小麦60t、有機大豆15t
→令和3年度：有機小麦約80t、有機大豆約20t

取組のポイント（令和3年度）

■有機農業の栽培技術講習会の開催

- ・有機農業の実効性を深めるため、（有）営農企画の今城氏が実践している大規模有機農業の技術や取組について報告を行い、意見交換を行った。また、慣行栽培を行っている農家もパネリストとして招き、有機栽培をテーマに有機農業者との意見交換を行うことで、有機農業に関する様々な分野の情報を共有できた。
- ・農研機構の池田氏から「有機栽培の研究事例」を学ぶなどの勉強会を開催し、有機・慣行農業者を問わず、最新の知識及び有機農業の動向に関する知識を習得した。

■有機小麦におけるコープブレッドファームの販売戦略について

- ・コープ自然派において有機小麦を使用したパンの販売数量・実績は年々拡大している。一方、原料である有機小麦の安定確保は大きな課題となっている。
- ・本協議会の取組や農家とのコミュニケーションの結果、例年より多くの有機小麦を確保することができた。
- ・また、本協議会の取組は、有機小麦の栽培拡大への可能性や需要の実態を広く知ってもらうことにつながっており、今後広く有機小麦を確保していく上での一助となっている。



一人でも多くの方に有機栽培技術について情報を得る機会を提供できるよう取り組んでまいります。

問い合わせ先
北海道有機農業推進協議会

TEL 078-915-7681

2 株式会社いかす（神奈川県平塚市）

協議会の構成員

有機農業者（6名）／協力：生協、地場スーパー、堆肥製造会社、チップ製造会社、農業系大学、神奈川県農業技術センター、有機農業者（4名）、新規有機就農者（2名）

生産概要（令和3年度末）

- 取組面積
 - 有機農業取組面積：6.5ha
 - うち有機JAS取得面積：3.3ha
- 栽培品目：たまねぎ、にんじん、ばれいしょなど
年間約30品目（すべて有機栽培）
- 有機農業者数：6名※研修生：10名
- 構成員の主な取引先：約10箇所（個人宅配、生協、スーパー、自然食品店、レストラン等）

成果（令和元年度→令和3年度）

1. 有機農業の拡大

- ・有機農業者数の増加：10名（令和2年度）→12名（令和3年度）
- ・有機農業取組面積の拡大：2.8ha（令和2年度）→3.3ha（令和3年度）

2. 経営の向上

- ・総収量：10トン（令和2年度）→15トン（令和3年度）

取組のポイント（令和2年度～）

■ 有機農業の普及・拡大に向けた取組

- ・作業の有効性の把握を目的に、土壌分析、収量調査及び栄養分析等の比較調査を実施。土壌診断の結果に基づいた土壌改良（石灰の投入）および緑肥の利用に取り組み、初年度から一定以上の品質・収量を実現できた。継続して調査を実施し「技術の汎用化」を実現し、有機農業の普及・拡大を目指す。

■ 有機農業者の栽培技術・経営力向上等に向けた取組

- ・有機農業関係者等を対象に、土壌診断や農業経営における考え方、食や種に関する勉強会など幅広い分野における講習会を年6回実施。有機農業者の栽培技術・経営力向上に寄与した。
- ・開墾初年度から、土壌改良、緑肥の利用及び連作によるたまねぎの収量の年々アップや栄養価の高いキャベツの収穫など実績があがった。



オーガニックエコフェスタ
2022でキャベツが最優秀賞を
頂きました！去年はカブが最
優秀賞でした！キレイで美味
しい野菜づくりまい進します。

問い合わせ先
株式会社いかす
080-3672-0802

関東農政局生産部生産技術環境課
048-740-0446

